

やまがら

2017年
春号
No.26

松山市議会議員
梶原ときよし



発行・梶原ときよし

国家権力による市民監視社会の再来になる「共謀罪」に反対しよう!!

- 教育と子育て予算の増額と、医療・介護・福祉を充実させる市政に転換しよう。
- 電車・バス・フェリーのシルバーパスを実施して元気な高齢者が活躍するまちにしよう。
- 伊方原発をやめて、子ども達に安心未来を引き継ごう!
- 市民の知る権利と表現の自由を奪う「特定秘密保護法」を廃止しよう。
- 安倍政権は「人を殺し、殺される」戦争法を撤回せよ!



やまがら(山雀)

毎年、冬には自宅に来てくれます。



ネットワーク市民の窓の梶原時義でございます。

去る、1月26日に自衛隊が本市の城山公園で迷彩服姿の自衛隊員16人による、武器を携行したまま軍事訓練を行なったことに対し、2月15日、小崎議員・杉村議員・武井議員と梶原の市議 4人で陸上自衛隊松山駐屯地に抗議に行きました。

そもそも城山公園を含む公園は、市民の憩いの場であり、子ども達が元気に遊びまわる場所でもあります。その憩いの場所に突然迷彩服姿の軍人が小銃を持って、幼い子供達の前で、相手を殺すための格闘訓練を大声で行なったことは、絶対に許されない行為だと、私は思います。

いちばん怖いのは、子ども達が軍事訓練に違和感を持たなくなり、格好いいと思ったリ、挙げ句は、「日本を守ってください」「安倍総理頑張れ!」と、言いだしたりすることです!

先の世界戦争を経て、二度と戦争はしないと決意した平和憲法を持ちながら、市民の目前で戦闘訓練をすること自体が憲法違反ではないかとも考えますが、いかがでしょうか。もちろん自衛隊の存在自体が憲法違反か

2017年3月議会一般質問 3月3日 市長は、本市公園での自衛隊軍事訓練を認めるべきではない! 梶原時義

どうかはさておき、災害救助活動などが評価され、一定の市民権を得ている感はあります。だからこそ、体操服やオレンジ色のレスキュー隊服で市民の必要性にこたえるべく災害救助訓練を行なうならまだしも、市民の目の前で、兵器を抱えた迷彩服姿の軍事訓練等は、行なうべきではないと思います。

「お国を守るためには必要です」という言葉でも有りになっていくことが懸念されてなりません。いつしか次第にシビリアンコントロールが利かなくなるのではないのでしょうか。許可を出した、公園管理課には、この重大さに気が付き、二度と本市の公園を軍事訓練に貸す事がないように、厳しく釘を刺しておきます。

そこで公園での軍事訓練を認めた野志市長の政治姿勢全般について質問します。

はじめに水問題。(2面へ)



子ども達の前で行った城山公園での兵器を使った軍事訓練(イメージ)

就学援助・新入学準備金の増額と現在の6月支給を、入学前の3月支給に前倒しせよ!

質問6 経済的に苦しい家庭の小・中学生150万人が受けている就学援助の一環で支給されている入学準備金について支給時期の前倒しを実施する自治体が増えている。

本市においても5,827人が受けている就学援助の入学準備金については、その実効性からも現在の6月支給ではなく、遅くとも、入学前の3月までの支給に変更していくべきではないか。

全国では、既に80以上の市区町村が市民の切なる要望にこたえて入学後支給から、出費のかさむ入学前に変更している現状を踏まえ、新教育長の答弁を求めます。

教育委員会答弁

入学準備金は児童生徒が必要な時期に支給を望む声があることや支給時期を入学前に変更する自治体も増加していることから、平成30年度入学者への支給の実施に向け、準備を進めて参ります。

※来年度から3月実施を約束。

質問7 2014年に施行された「子どもの貧困対策の推進に関する法律」の基本理念には「子ども等に対する教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援等の施策を、子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されることのない社会を実現することを旨として講ずることにより、推進されなければならない」とあります。

また自治体は、その基本理念にのっとり施策の策定及び実施が責務として規定されていますが、本市の現状は小学校入学時2万4700円、中学校入学時2万3550円と、残念ながら言い難い内容になっています。

格差社会から、すべての子どもの未来を保障するためにも、せめて倍増させるくらいの予算を組むべきではないか。

教育長の責務と自覚のある答弁を求めます。

教育委員会答弁

現在の厳しい財政状況にあつては、入学準備金を引き上げることが、現時点では困難であると考えています。

※今年度、国が全国の自治体に示す入学準備金の基準は小学生で40,600円、中学生で47,400円であるにもかかわらず、本市はその半分しか出していません。

教育長は、子どもの貧困対策の責務を果たさなければなりません!



梶原ときよし(ネットワーク市民の窓)

2017年3月議会も一般質問で登壇しました。(本議会全定例会7年間28回連続登壇:記録更新中)

HPでは梶原の活動予定や全定例議会での質問登壇が動画でご覧いただけます。

市政他、何でも相談をお受けしています。ご連絡ください。

ホームページ

梶原ときよし 公式ホームページ

検索

梶原ときよし事務所

〒790-0813 松山市萱町2丁目1-2
TEL 089-947-2258 FAX 089-947-2259
携帯 080-5669-8586
E-mail sizenha-812@lib.e-catv.ne.jp

●午後1時～午後5時まで(月～木)
●金・土・日・祝日はお休みです。



お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



議会質問

3月議会一般質問より抜粋

2017年3月3日



西条分水問題 何故か？西条市へ「水をください」とお願いした事がない。

野志松山市長の政治姿勢について

男女共同参画 議場幹部は男性部長のみ。何故か？女性部長を登用しない。

質問1

野志市長は中村前市長の後を受け、西条市の黒瀬ダムからの分水を公約にして6年前に市長に就任しましたが、就任後三代3人の西条市長（伊藤市長・青野市長・そして昨年就任された玉井市長）に対し、直接分水のお願いに行っても、私は聞いたことがありません。

市長が真面目に西条分水を考えているのであれば、西条市長が代替わりすれば、当然西条市の新市長に「松山市に水をください。」と、お願いに行くべきではないかと、私は思います。お願いに行かなかったその理由をお答えください。

野志市長の答弁

分水は最重要課題であり、交渉事ですので、私自らお願いすることが重要であることは十分承知しています。しかし、相手方の事情もありま

野志市長の答弁

可能性が無いなどとは考えていません。分水の了解をいただく「自信」については、西条市民の皆さんの心情を思うと議員の言われる「自信」という言葉は、ここにはそぐわないと思います。

※「中村知事にやれと言われているから（できない事は解っているけど）やっているだけです」と野志さんの愚痴が聞こえてきそうです！

質問4

野志市長の今議会所信表明には、なぜかドナルド・トランプ米大統領の登場で全世界が不安におののいている国際情勢や、国内においては6人に1人が貧困といわれている子どもの貧困問題が、一言すら語られていません。

国体やお祭りイベントのオンパレード、あとは大型公共事業推進の土木事業と耐震化事業に、必要もないできもしない西条分水への決意。

市民は「6年も経ってこの程度の市政運営しかできないのか」と嘆いているのではないかと思えてなりません。

中でも私が一番悲しいのは、本市の男女共同参画が進んでいないだけでなく、市長に進める気がないので？ないかという疑問です。具体的には、野志市長になって6年もたつのにまだに女性部長

すので、やみくもに行動することは、避けるべきと考えています。

※「西条の水をください」とお願いする事がやみくもな行動なのでしょうか？

質問2

西条市民にお願いもせず、松山市民には西条分水を公約にして選挙をしたとすれば、両市民に対する裏切り行為ではないでしょうか。

黒瀬ダム余水の利用の仕方はさておき、先ずは人として「お願いする事」は当たり前だと思えますが、所見を求めます。

野志市長の答弁

両市の発展を願う、西条からの分水を基本に、新規水源確保に取り組んでおり、裏切りなどには全くあたりません。

をただの1人も登用していないことです。何度も言いますが、理事者側幹部は相変わらずの男性集団。みなさん！異常だとは思いませんか。女性が参政権を得て72年が経つというのに、ましてや14年前に松山市男女共同参画推進条例までも策定しておきながら（松山市政発足以来128年）ただの一人も女性部長を登用しないのは、女性差別そのものではないか。

総務部長答弁

職員の育成には時間を要するものの、女性職員の増加に伴い、今後は、幹部職員への登用が進んでいくものと考えています。このように本市では、着実に女性職員への育成を進めていますので、部長級に女性が一人もいない現状が女性差別にあるとは考えていません。

※2017年4月松山市政発足以来初の女性部長が誕生しました！（梶原の7年間に及ぶ追及の成果か!?）※今後もアリのバイの女性部長誕生にさせず、更なる男女共同参画市政を求めていきます！

質問3

私の知る本市民には、野志市長が公約する西条分水が実現できると思っている人は、ほとんどいません。

また、西条分水を声高に叫んで、10年が過ぎますが、今まで10億円以上の経費を浪費しただけで、結果的に何も進んでいない現状の中、分水の見込みはあるのか。

もういい加減できもしない公約は取り下げて、本当に本市の水が不足すると考えているなら、現実味のある方策に切り替え、着手するべき時期が来ているのではないかと。

それでも、まだ西条分水の公約を突っ張るつもりなのであれば、市長職を賭してでも、今任期中に西条市の了解を取るくらいの気概が必要ではないか。その自信はあるのか？それともないのか？

質問5

本市庁舎本館1階入り口左手のインフォメーション横には、野志市長を含め部長級以上のまたまた男性ばかり26人の顔写真が並べてあります。

「男女共同参画ができていない本市の現状で、男性だけの写真を並べることは、男尊女卑思想や女性差別固定化につながるからやめるべきだ」と、私が何度も指摘してきましたが、やめない野志市長の人権意識の未熟さには情けないだけでなく、政治家としての資質にも疑問が残ってしまいます。

「将来は市役所に勤めて市民のために役に立つ仕事をした」と考えている小学5年生の女子児童が、この写真を見たらどう思うか？

野志市長はそんなことを考えたことがありますか。未来ある女子児童の立場に立って、或いは、女性の立場に立ってその光景をどう思うか？市長の想像力を子ども達に披露してください。

総務部長答弁

顔写真が男性職員だけであることを捉え、人権意識の問題に繋がるものではないかと考えています。また、市長の想像力についてはお答えを致しかねます。

※答弁できないくらいならやめるか、或いは窓口で活躍する若い男女の笑顔の写真に変えたらどうでしょうか。